

2025 年 10 月 16 日
 豪州経済

 りそなホールディングス 市場企画部
 渋谷 和樹

日米欧 Market View: 25 年 10 月豪州概況

米中貿易交渉の行方が短期的に豪ドルを左右

要約

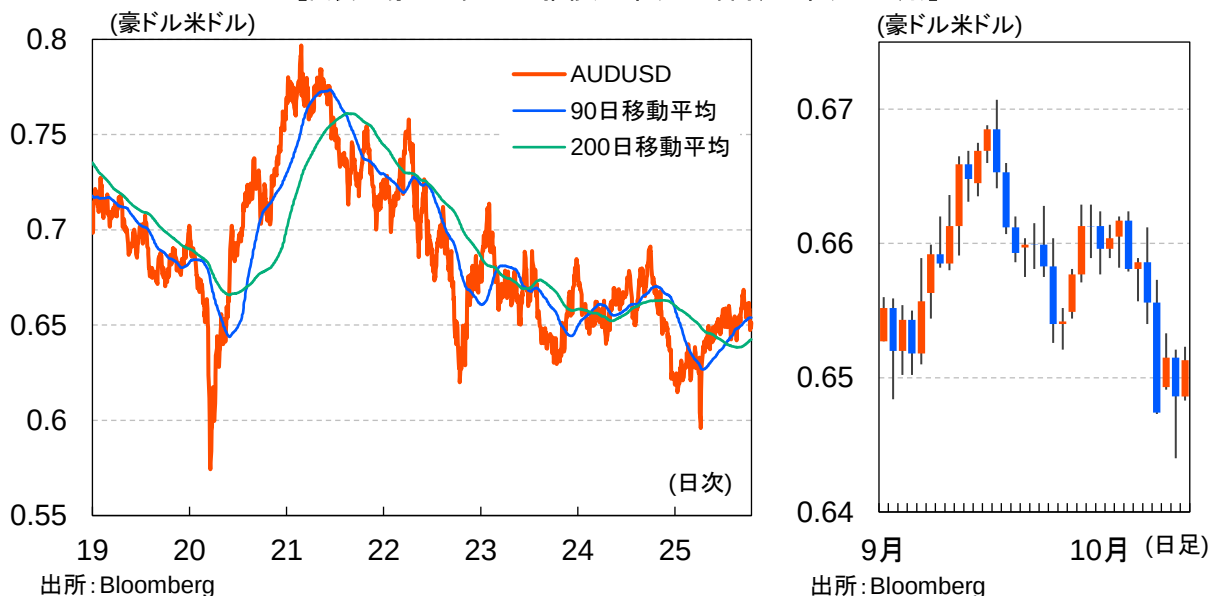
- 9 月の豪ドルは対ドル、対円ともに上昇した。
- 対ドルでは 25 年末にかけて現状(1 豪ドル 0.66 ドル)程度で推移しそうだ。短期的には米中貿易協議の動向に左右されるが、中長期的には米 FRB の利下げが豪ドルの支援材料となろう。
- 対円では日本国内での政治情勢への懸念から短期的には円が売られやすい。高市氏が首相に就任し現実的な政策対応を取る場合には、中長期的には 1 豪ドル 100 円前後での推移を想定する。

【為替】

豪ドルは対ドル、対円ともに上昇

9 月の豪ドルは対ドル、対円ともに上昇した(図表 1,2)。中旬にかけて株式市場のリスク選好相場が続くなか、豪ドルも上昇基調をみせた。17 日の米 FOMC では市場予想通り利下げ再開が決定されたが、来年の政策金利見通しが市場の織り込みに比べてややタカ派的であったことから、次第にドルが買い戻される展開となった。対円は、日本の次期政権による財政拡張的な政策が意識されて円が売られやすい地合いとなったことから、相対的に強含んで推移した。

【図表 1: 豪ドル米ドルの推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 カ月)】

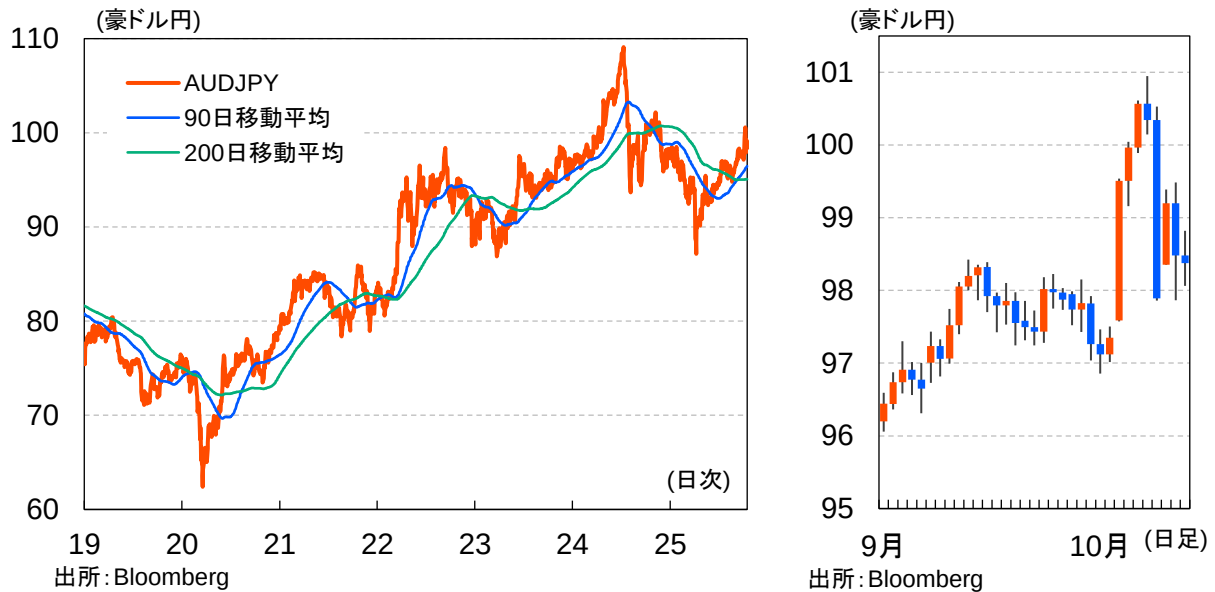


◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 2: 豪ドル円の推移(左: 直近 5 年間、右: 直近 1 ヶ月)】

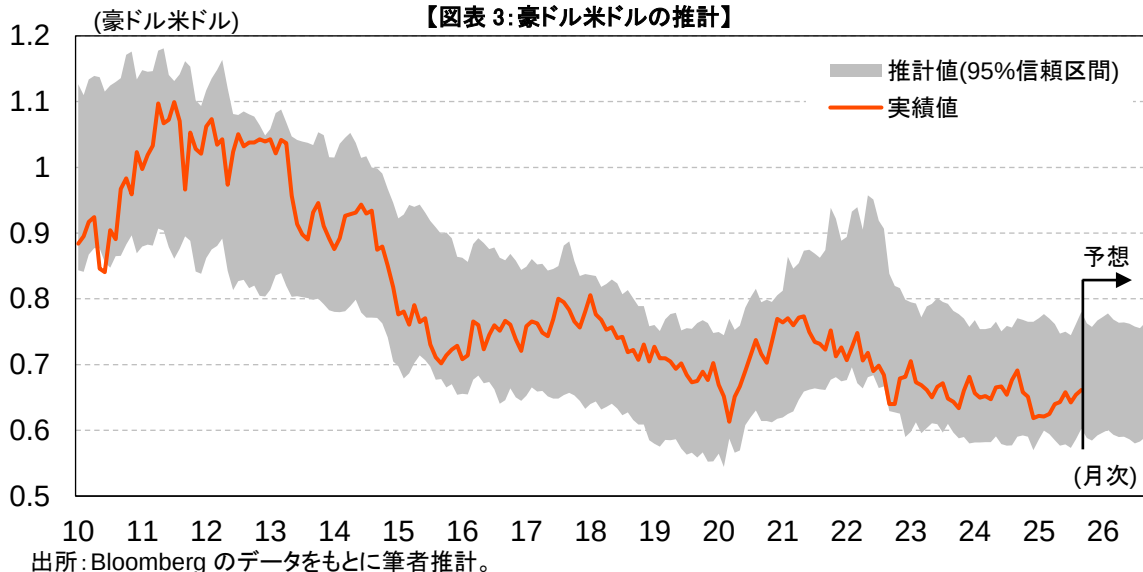


短期的には米中貿易協議の動向がカギか

10 月以降の豪ドルは、対米ドルでは 26 年央にかけて概ね現状程度の水準で推移するとみている(図表 3,4)。今月は米中貿易対立の再燃懸念を背景に、中国と貿易関係の深い豪州経済への影響が意識され、豪ドルは軟調に推移した。短期的には、米中関税協議の動向が豪ドルを左右する展開が続くとみられる。一方、金融政策面では、米 FRB が利下げを再開したことで、慎重な政策運営を続ける豪中銀とのスタンスの違いが意識されやすい。また、FRB の利下げがリスク選好を高める局面では、豪ドルの支援材料となる可能性がある。

対円は、日本国内の政治情勢が流動的となっていることから、短期的には円を買いづらい展開となりそうだ。ただし、自民党総裁の高市氏が首相に就任し比較的現実的な政策対応を取る場合には、拡張財政に対する過度な懸念が後退するほか、同氏が依然ほど極端な金融緩和路線を志向していないとみられることから、日銀の利上げ観測が次第に高まる可能性がある。このため、中長期的には 1 豪ドル 100 円前後での推移を想定する。

【図表 3: 豪ドル米ドルの推計】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

【図表 4: 豪ドルの為替見通し】

		10-12 月	1-3 月	4-6 月	7-9 月
豪ドル 米ドル	レンジ	0.62-0.70	0.62-0.70	0.62-0.70	0.62-0.70
	期末値	0.66	0.66	0.66	0.68
豪ドル 円	レンジ	93-105	93-105	93-105	95-107
	期末値	99	99	99	101

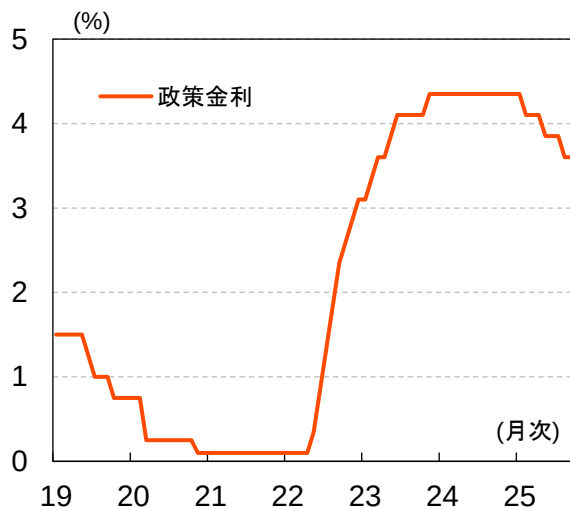
出所: りそなホールディングス

【金融政策】

9 月会合では政策金利の据え置きを決定

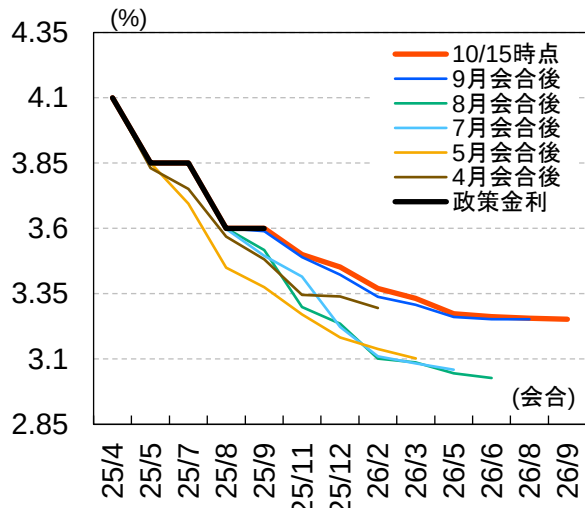
豪中銀は9月30日の政策決定会合で、政策金利を3.60%と、市場予想通り政策金利を据え置いた(図表5)。声明では「基調インフレ率の低下ペースは鈍化している」「労働市場の状況は全体として安定している」としたうえで、総裁の記者会見では「サービスインフレに粘着性の兆しがみられる」と、インフレの高止まりに警戒感を示し、慎重に政策決定を行う姿勢を継続した。市場では、今会合を前回よりもややタカ派的な内容と受け止め、豪ドルは上昇した。また、金利先物市場における将来の政策金利見通しも会合後にやや上昇した(図表6)。筆者は、景気の大きな下振れやインフレの下方リスク顕現などがない限り、3%程度のターミナルレートを想定した、四半期に一回程度の緩やかな利下げパスとなる予想を維持する。

【図表 5: 豪中銀政策金利】



出所: Bloomberg

【図表 6: OIS 市場の政策金利織り込み】



出所: Bloomberg

【景気】

物価・消費: 物価の基調は目標レンジ内で推移

9月24日に公表された8月CPI総合指数は前年比3.0%、豪中銀が基調的なインフレ指標として重視するトリム平均値は前年比2.6%だった。トリム平均値は物価目標のレンジ(2~3%)の範囲内で推移しており、基調的な物価上昇圧力は概ね安定している(図表7)。総合指数は市場予想(前年比2.9%)を小幅に上回り、電気代

◎注意事項

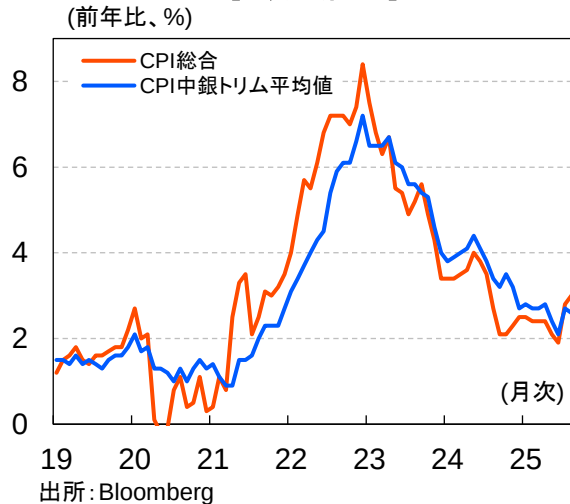
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

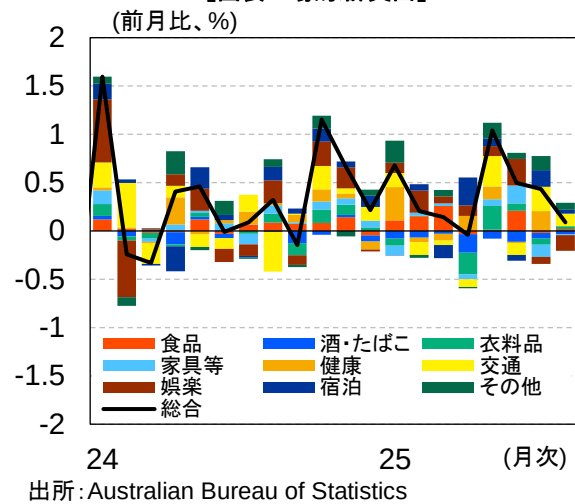
の大幅な上昇がインフレ加速に寄与した。これは、前年に実施された電気代補助金の効果が剥落し、統計上の反動増となったためである。

10月2日公表の8月家計支出は、前月比0.1%と市場予想(同0.3%)を下回り、前月から伸びが鈍化した(図表8)。内訳をみると、娯楽や健康、宿泊、輸送などサービス関連支出の寄与度が低下しており、足元では不急の消費を抑える慎重な姿勢がみられる。ただし、総支出額は4ヵ月連続で増加しており、全体としてはインフレ率の鈍化に伴う実質賃金の改善が家計消費を下支えしている。

【図表7: 豪CPI】



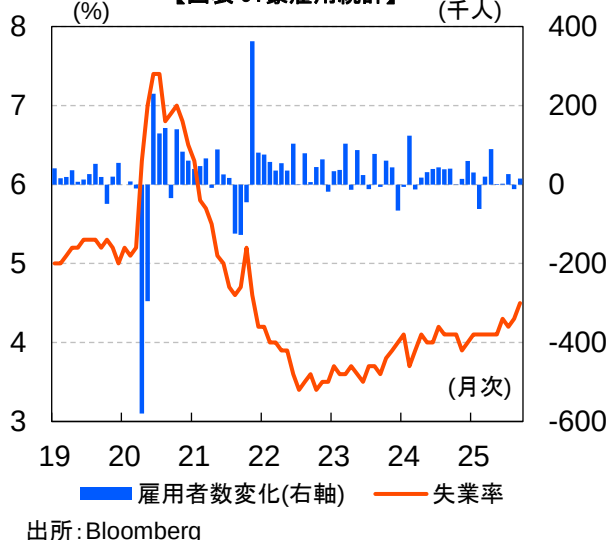
【図表8: 豪家計支出】



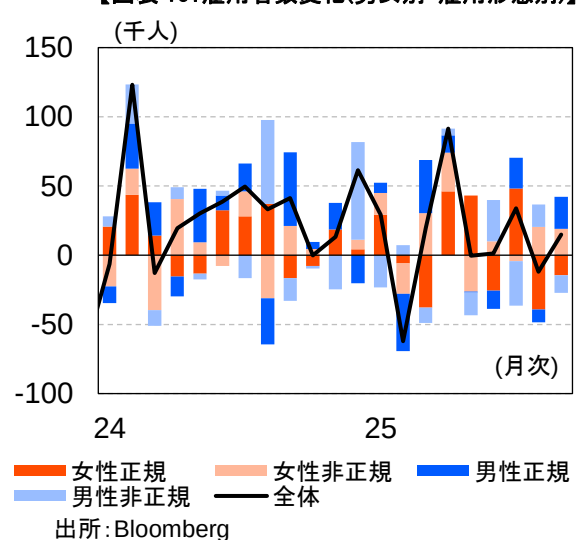
雇用: 雇用者数変化・失業率ともに市場予想を下回る弱い内容

10月16日に公表された9月の雇用統計は、前月からの雇用者数変化が+14.9千人(市場予想: +20千人)、失業率が4.5%(市場予想: 4.3%)と、雇用者数の伸び、失業率ともに市場予想を下回った(図表9)。内訳をみると、男性の正規労働者が増加した一方、女性の正規労働者は減少しており、まちまちな内容となった(図表10)。雇用指標は今年春以降、強弱が交錯しながらも全体としては弱めの推移が目立ってきており、労働市場の緩和が徐々に鮮明になりつつあるといえよう。

【図表9: 豪雇用統計】



【図表10: 雇用者数変化(男女別・雇用形態別)】



◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

■バックナンバー(直近発行レポート 50 本)

No	発行日	テーマ	タイトル
232	2025/7/4	日本株	日本株需給(6月23日～6月27日)
233	2025/7/11	日本株	日本株需給(6月30日～7月4日)
234	2025/7/16	米国経済	6月米CPI
235	2025/7/17	豪州経済	25年7月豪州概況
236	2025/7/18	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly (2025年7月)
237	2025/7/18	日本株	日本株需給(7月7日～7月11日)
238	2025/7/25	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
239	2025/7/25	日本株	日米関税交渉と日本株バリュエーション
240	2025/7/28	日本株	日本株需給(7月14日～7月18日)
241	2025/7/30	コモディティ	25年6・7月WTI原油先物価格
242	2025/7/31	欧州経済	25年第2四半期ユーロ圏GDP統計
243	2025/7/31	米国経済	7月FOMC
244	2025/8/1	欧州経済	日本株の7月セクター動向と8月見通し
245	2025/8/1	日本株	日本株需給(7月22日～7月25日)
246	2025/8/4	欧州経済	25年7月ユーロ圏物価動向
247	2025/8/4	米国経済, 米国株	7月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
248	2025/8/4	米国経済	7月雇用統計
249	2025/8/8	日本株	日本株需給(7月28日～8月1日)
250	2025/8/13	米国経済	7月米CPI
251	2025/8/13	半導体, 日本株, 米国株	半導体市場 Monthly(2025年8月)
252	2025/8/14	豪州経済	25年8月豪州概況
253	2025/8/18	日本株	日本株需給(8月4日～8月8日)
254	2025/8/22	日本株	日本株需給(8月12日～8月15日)
255	2025/8/25	欧州経済	25年第二四半期ユーロ圏賃金動向
256	2025/8/28	コモディティ	25年7・8月WTI原油先物価格
257	2025/8/28	半導体, 日本株, 米国株	エヌビディアの決算 FY2026 2Q
258	2025/8/28	日本株	日本株需給(8月18日～8月22日)
259	2025/8/28	日本株	4-6月期決算と年末までの見通し
260	2025/9/3	日本株	25年8月ユーロ圏物価動向
261	2025/9/3	米国株, 米国経済	8月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
262	2025/9/5	日本株	日本株需給(8月25日～8月29日)
263	2025/9/8	米国経済	8月雇用統計
264	2025/9/10	日本株	自民党総裁選と日本株見通し
265	2025/9/12	日本株	日本株需給(9月1日～9月5日)
266	2025/9/12	米国経済	8月米CPI
267	2025/9/12	半導体, 日本株, 米国株	9月半導体市場及びハイテク株動向
268	2025/9/12	欧州経済	ECB<欧州中央銀行>理事会
269	2025/9/18	米国経済, 米金利, 米国株	9月FOMCとマーケットへの影響
270	2025/9/18	豪州経済	25年9月豪州概況
271	2025/9/19	日本株	ここもとの日本株上昇相場についての考察～日経平均 4 万 5000 円は妥当か
272	2025/9/22	日本株	日本株需給(9月8日～9月12日)
273	2025/9/29	日本株	日本株需給(9月16日～9月19日)
274	2025/9/30	コモディティ	25年8・9月WTI原油先物価格
275	2025/10/1	日本株	日本株9月レビューと10月見通し
276	2025/10/2	欧州経済	25年9月ユーロ圏物価動向
277	2025/10/2	米国株, 米国経済	9月ISM製造業景況感指数と米国株見通し
278	2025/10/3	日本株	日本株需給(9月22日～9月26日)
279	2025/10/6	日本株, ドル円	高市氏勝利とマーケットへの影響
280	2025/10/10	半導体, 日本株, 米国株	10月半導体市場及びハイテク株動向
281	2025/10/10	日本株	日本株需給(9月29日～10月3日)

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否にかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。